

おいしい 自然園

カワチマルクビ

ゴミムシ



秋も深まり、冬の足音が聞こえてくると、昆虫たちも冬越しの準備をはじめます。酒匂川の河原に転がる石は、太陽の光を浴びて温かく、多くの昆虫たちが寒さから逃げてきて、温まった石の下に隠れています。

今回紹介するカワチマルクビゴミムシは、そのような昆虫の代表です。水辺に近い、少し泥っぽい場所で、石をひっくり返すと良く見られます。体が平たく、脚が長いため、石のすき間をすばやく歩きまわることができます。成虫、幼虫ともに肉食で、さまざまな小さな生き物を襲って食べます。

酒匂川の河原では普通に見られ、晩秋になると探しやすくなりますが、霜が降りて冬本番になると、崖の中に潜り込んで越冬し、姿が見られなくなります。



△カワチマルクビゴミムシ